第2回東彼杵町小中一貫教育
導入準備委員会
会議録

東彼杵町教育委員会

令和8年９月14日

Ⅰ 開　　会　令和8年9月 14 日(月) 14時00分

Ⅱ 閉　　会　令和8年9月 14 日(月) 15時30分

Ⅲ 出席委員　田中 寛志委員、野口 厚司委員、冨永 裕子委員、森 保憲委員、吉浦 学委員、森 一峻委員、
大場 真悟委員、下田 雅典委員、蒲原 正幸委員、吉永 信一郎委員、正尾 敏委員、
明時 千枝子委員、生田 真委員、松山 幸一郎委員、岩﨑 生大委員、滝川　恵委員、
山口　厚委員、岡田 半次郎委員、境 裕一委員、古川 達也委員

Ⅳ 事 務 局　川本 晃弘、岩川 克行

Ⅴ 案件事項

1 開会
2 委嘱状交付(新委員・所属が変わられた委員)
3 委員及び事務局職員自己紹介
4 教育長あいさつ
5 報告・説明
(1) 第10 回検討委員会・第 1 回準備委員会の概要について・・・・・・・・・資料1-⑤・2
(2) 令和 8 年度東彼杵町小中一貫教育研究推進大会の概要(グランドデザイン進捗状況)等について・・・・・・資料3
6 議事
(1) 今後の準備委員会の進め方について(審議内容・日程等について)・・資料 1－⑤
(2) 小中一貫教育の説明会について・・・・・・・・資料4
① 開催時期・場所・方法等について
② パンフレット・説明内容について
③ その他
(3) 保護者対象アンケート等について・・・・・・・・・・資料5
(4) 学園名募集について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6
(5) その他
7 次回の準備委員会について
8 閉会

Ⅶ 資　　料

資料1-①:会次第　資料1-②:タイムスケジュール　資料1-③:委員名簿　資料1-④:設置要綱
資料1-⑤:これまでの経過と今後の予定
資料2:第回 10 東彼杵町小中一貫教育検討委員会・第 1 回準備会会議録
資料3-①:小中一貫教育研究推進大会アンケート結果
資料3-②:研究推進大会アンケート分析報告書
資料3-③:研究推進大会分科会成果発表　議事録
資料4:小中一貫教育の説明会について
資料5:保護者対象アンケート等について
資料6:学園名募集について

Ⅶ 議事内容

＜次長＞

皆さん、こんにちは。第２回目となります、東彼杵町小中一貫教育導入準委員会を始めさせていただきます。

はじめに、令和8年度になりまして、役員等の交代ならびに PTA 等の役員の交代に伴い委員の方が交代されていますので、委嘱状を交付させていただきたいと思います。

お手元の資料 1-①の３ページの方に委員の名簿を記載しています。その中で、先に読み上げますが、令和８年度で交代されておられる方につきまして、東彼杵町区長会の副会長として野口様がいらっしゃいます。そして、続いて、PTA の関係の方々になりますけども、会長さん方が役員交代で代わっておられまして、千綿小の PTA 会長さんに森様、彼杵小の PTA 会長に大場様、東彼杵中学校 PTA の会長に下田様ということでお代わりになっていらっしゃいます。また、学校関係の校長先生になりますが、千綿小学校の校長の蒲原校長先生が代わっておられまして、委員としてお願いいたします。続いて、ちょっと飛びますが、役場関係の職員になりますけども、交通防災係の係長が、松山に代わっていますが、以前は社会教育係長として、この会議にも関わっておりまして、定期異動で防災交通係長として引き続き、委員としてお願いをいたします。続いて、教育委員会になりますけども、社会教育係長の後任ということで、古川係長が新しい委員としてお願いすることになります。以上の方々が、本年度変わられておりまして、本来であればお一人一人に委任状をお渡しするべきところでございますが、代表の方に受け取っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。代表していただきまして、東彼杵町区長会の野口様にお願いをさせていただきます。

＜教育長＞

委嘱状、野口厚司様、東彼杵町小中一貫教育導入準備委員会委員に委嘱します。期間令和８年９月 14 日から令和９年３月31まで、令和８年９月 14 日、東彼杵町教育委員会。

＜次長＞

それでは続きまして、新しい年度での開催になりますので、委員の皆様の紹介をさせていただきます。同じ３ページをお開きいただきたいと思いますが、この順番でそれぞれ私の方で紹介をさせていただきますので、その場でご起立いただければ幸いです。

各委員紹介

では、２番目の教育長挨拶です。山口教育長がご挨拶を申し上げます。

＜教育長＞11:50

失礼します。改めまして、皆さんこんにちは。本日は、ご多用の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

日頃より教育委員会、それから学校の教育活動にご協力・ご理解いただきまして誠にありがとうございます。

本年度はご存じのように夏休みを少し短くしまして、８月 26 日から始めました。この前の校長会の時に、子供たちの様子はどうでしたかと確認しましたら、スムーズにできましたということでした。８月中は午前中に授業を行い、給食を食べて一斉に下校としたことで子供たちも徐々に慣れてきた感じを受けましたということで、職員も段々と子供たちと同様、学校モードに切り替わってきているような感じがしますということをお聞きしました。当初の目的である、スムーズな２学期のすべり出しということではうまくいったのかなと思っています。

今日、国の行政関係の方が、町の方にご挨拶に来られました。文科省からも出向された方がいらっしゃって、わざわざ教育委員会の方にご挨拶にこられたので意見交換を行い、たくさん東彼杵町のアピールをしました。今取り組んでいることについてご理解をいただいて、今後とも町の方にも何回か来ますし、東彼杵町の担当ですのでということでしたので、またお越しくださいということをお話したところです。

さてちょうど今日の準備委員会の資料 4-①の後ろの方を見ていただいてよろしいでしょうか。検討委員会を立ち上

げた時から、委員の皆様には先生方に対して負担がかからないようにとお気遣いをいただいておりました。そして、小中一貫教育に関して、先生方に理解を深めていただきたいということで、8 月 19 日に小中一貫教育研究推進大会議を開きました。今日、そのアンケート報告もあります。その前に 7 月中に、担当の岩川と指導主事の境の方が各学校に赴きまして、先生方に小中一貫教育の基本方針について説明を行いました。その中に今後の見通しを立ててもらうための 5 年間のロードマップ、こういう流れでいくということを先生方に承知をしていただきたいなと思って作成したものです。もちろん、この中でも、委員の皆さんとも共有したいなと思っています。上から「国の動き」、「小中一貫教育（全体）」というのがありまして、本年の平和集会を 8 月9日、小中合同で、3 校で一斉に行いました。来年は、これに歓迎遠足も小学校1年生から中学校 3 年まで一斉に行う計画をしているところです。

あと、「ふるさと教育」ということや「教育委員会の施策」ということになりますが、連携の中に「小・小、小・中」という部分があると思いますが、修学旅行は昨年から一緒に行きましたが、今年度から 5 年生の宿泊学習も合同で行います。

それ以外に、小学校同士の先生方が話し合う機会を持って、同じ学年同士で活動をする時間を設けてもらいました。その中で、例えば1年生が、JA が行っている七夕の飾りつけを、JA に千綿小学校も彼杵小学校も一年生が一緒に行って、そこで飾りつけをやったりしました。

あと 4 年生の担任同士がオンラインでやりとりを行い、それぞれ役割分担して教材やテストを一緒に作って、合同でやっていくとかの、先生方の自発的な取り組みも見えてきているところです。先生方にも、考えてやってもらっていいのではないかなと思っているところです。

資料 4 の後ろから3つめに「グランドデザイン」を入れています。ここの共通取組事項の「学力向上」、「心の教育」、「体力向上」、「地域・ふるさと教育」について、8 月 19 日の小中一貫教育研究推進大会で、先生方に話し合いをしていただいたところです。ここの部分は先生方が作っていくということになりますが、その上の部分の「学園教育目標」・「目指す姿」というところは、地域の方々、保護者、皆様のご意見を聞きながら作りたいと考えています。「知・徳・体」と合わせて、「地域・ふるさと教育」というのを教育の柱に据えています。地域の人たちと教育をしながら、触れ合いながら実践をしていくというのを、小中一貫教育の一つの大きな教育の柱にしていますので、今後こういうものも、進めていけるようになっていくといいかなと思います。

8 月 19 日の小中一貫教育研究推進大会の「心の教育」部会に参加されていたある先生が、「幼・保の就学前教育含めて、小学校からの 9 年間ばかりではなくて、就学前も踏まえたものを考えた方がいいと思います。」という意見をおっしゃってくださっています。私も、良い意見を言っていただいたなと思いながら聞いていたんですけども、そういうふうに、今後、乳幼児教育も含めたものも考えながら進めていくことになるというふうに思っているところです。

そういうものも含めて、今後、準備委員会として、いろんな地域の方々とか保護者の方々のご意見を集約しながら、保護者、地域、学校、一体となった学校づくりになればいいなと思っていますので、忌憚のないご意見をいただければなと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

＜次長＞

ありがとうございました。それでは早速、5 以降の報告・説明、そして議事というところに移っていきますが、修正をお願いしたいと思います。まず資料 1-①の終わりの時間なのですが、16：00と記載していますが、これを 15 時 30 分に修正をお願いいたします。それと、「8　閉会」の下に枠がございますが、そこの資料2の「10」と「回」が入れ替わっていますので修正をお願いします。以上、修正をお願いできればと思います。

早速、報告・説明に移ります。第 10 回検討委員会・第 1 回準備委員会の概要、令和 8 年度東彼杵町小中一貫教育研究推進大会の概要（グランドデザインの進捗状況）等について、事務局の方から報告・説明をいたします。

＜事務局＞

失礼いたします。資料 2 の第10回東彼杵町小中一貫教育検討委員会・第 1 回準備委員会の会議録というのがあると

思います。別紙で 3 月 27 日の長崎新聞の記事があると思うのですが、ここ 2 年間で、導入の是非について1年目に議論し、2 年目に基本方針を作りまして、10 回目が答申ということで、長崎新聞に取材をしていただきまして、そこにある内容で 10 回目の検討委員会、そして第 1 回準備委員会をスタートしました。

これまでは導入をどうするかということで検討を行ってきましたが、これからは、学校現場、あるいは地域、家庭も含めて、町全体で取り組んでいくことの具体を、教育内容として取り組んでいく方向が、今からの私たちの役割になっていくと思っています。会議の内容については、詳しくは触れませんけども、お時間があるときにお読みいただければと思います。それ以前につきましても、資料 1-①の 6・7 ページに、検討委員会の第 1 回目、令和 6 年 2 月 21 日から議論した内容について一覧として載せています。

小中一貫教育研究推進研究大会の内容につきましては、資料 3 に載せています。内容としては、前半で、私どもが 2 年前に先進地視察を行いました宗像市の日の里学園、ここも小学校 2 校、中学校 1 校の分離型の小中一貫教育に取り組んでおられます。宗像市の場合は、もう 20 年ぐらい前から取り組みを始められ、コミュニティスクールと小中一貫教育を合体させる形で、「ふるさと教育」にも取り組まれています。メリット、デメリットも含め、これまでの 20 年間の歩みや今後に向けての内容についてご講演をいただきました。先生方からもご質問をお受けして、それに答えていただきました。当日は 2 人の指導主事の方が来てくださいました。北岡先生は、事前に大村線の電車に乗ってこの辺りを回られています。本日も、学校に午前中に訪問され、学校の様子も見ていただいて感想を述べていただいたりしてご協力をいただきました。

その後に、先ほど教育長からもありました具体的なグランドデザインの内容に関連して、どんな子どもたちに育ってほしいのかを論議するための基礎資料となる今の子どもたちの実態や課題を出し合うための分科会を行いました。資料の方は、最初の 3 ページまでが参加してくださった先生方の感想のアンケートになっています。4 ページの表にございますように、宗像市の講演、目的、背景理解については、肯定的な「だいたい理解できた」と「よく理解できた」というのが 92.7%ということでした。

5 ページの上の表の「分科会の意見交流」については、100%の先生方が、「良かった」「とても良かった」と回答されています。また、「小中一貫教育のイメージをつかめましたか？」についても、「だいたいできた」「できた」が、95.1%で、この研修会については、所期の目的を達成できたのではないかと思います。

この日は午前中に ICT 関連と学校の ICT のシステムが 2 学期から変わるということでの研修会も開催されましたので、それについてのアンケート結果も含まれています。7 ページには、各学校の子どもたちの様子や課題について、KJ 法での分析を、今回は全参加者がパソコンで行いました。「学力向上」部会、「心の教育」部会、「体力向上」部会、「地域・ふるさと教育」部会に分かれて議論を行いました。「学力向上」に関しては、「基礎基本、学習規律、 ICT 活動、情報モラル、自己調整、表現力」といったキーワードをもとに、特に前期は学習習慣、小学校の1年生から 4 年生までについて「学習習慣と基礎」、中期の 5 年生・6 年生・中 1 は、「自己選択、自己調整」、そして後期は「進路を見すえた学びに発展させる」というような、学力に関しての方向性の確認をしていただいています。

「心の教育」についても、「挨拶や決まり、思いや気持ちの言語化」。言葉に出して、「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」が言えること、「主体性や集団の中での役割を持つ」こと、「共生の尊重、自己実現を図る」こと等が必要という意見が多く出さました。また、「縦割り活動」「児童会・生徒会の合同の企画」等、先ほどもありました今年の平和集会にはそのような形で既に取り組んでいただいています。また、異年齢交流の具体案も出てきています。

「体力向上」部会では、体力を体育だけでなく、「生活習慣・食育・睡眠」「メディアコントロール」「衛生習慣」「体力テストの分析」まで広くとらえていただいています。「合同体育」「専科」「自然体験」「徒歩通学」といったものをやっていこうということ等が、3 校の共通した取り組みとして確認できました。

「地域・ふるさと教育」部会においては、「東彼杵町を知る」から「深く調べる」「課題を見つける」「発信する」「地域づくりに参画する」という段階に発展する構想が見えてきています。「お茶」「くじら」「地域産業」「自然」「歴史」「地域人材の活用」といった方向性についても確認がされました。

11 月にも、先生方に先ほど挙げたグランドデザインの完成に向けての論議をしていただく予定です。それぞれの分科会での詳しい中身については、 9 ページから載せています。最初に申しましたように、参加いただきました先生方の理解も含めまして、所期の目的が達成できた研修会になったのではないかと思っています。以上です。

＜次長＞

はい、ありがとうございました。

今ちょうど、彼杵小の PTA 会長の大場会長さんがお見えでございますので、ご紹介いたします。大場会長様です。どうぞよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

それでは、今説明しました報告・説明の内容について何か皆様の方から、ご質問等、確認したいというような案件はございませんでしょうか。

よろしいですか。若干、時間が遅れていますので、次の議事の方に移らせていただいて、後また総括して質疑等があればと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議事に入りますが、議事の進行につきましては、委員長をお願いしています正尾校長先生の方で進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

＜議長＞

皆さんこんにちは、ここから私の方で議論を進めてたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

資料 1-①に議事が載っていますので、(1)今後の準備委員会の進め方について、審議内容、日程等について、事務局から説明をお願いします。資料は資料 1 の 6・ 7 ページです。

＜事務局＞

6・7 ページの前に、この会議がどんな会議かということを確認をしたと思います。4・5 ページをご覧ください。

準備委員会設置要項ということで、導入検討委員会から引き続きということで、(設置)第 1 条の 2 行目に、「東彼杵町小中一貫教育検討委員会がまとめた東彼杵町の小中一貫教育基本方針に基づく小中一貫教育の導入について、その効果的な推進に必要な事項の検討を行うために、この委員会を設置する。」となっています。

それから第 2 条の(所掌事項)としましては、「委員会は次に掲げる事項について必要な意見を具申する。」

(1)小中一貫教育の具体的な実施体制及び実施方針に関すること。

(2)小中一貫教育のグランドデザイン策定に関すること。

(3)前各号に掲げるもののほか、前条に規定する委員会の目標を達するために必要な事項

となっています。基本方針をもとに、具体的に学校の教育活動や教育内容、カリキュラム等々も含めて、落とし込んでいくことになりますが、学校だけではなくて、家庭、地域も含めた皆さんのご協力がないと、そういった状況が進まないので、ぜひ建設的な様々なご意見をお願いできればと思います。

続きまして 7 ページになりますが、第 1 回の準備委員会が、「委任状交付、設置要綱の確認、役員選出、グランドデザインについて、教職員への関わり、地域への説明、小中一貫校の名称について」ということで確認を行いました。

第 2 回目が本日になります。読み上げませんが、この後第 3 回を、令和 9 年の 2 月から 3 月の予定で、グランデザインついては、最終的には令和 9 年の 11 月ぐらいに完成ということで、タイムスケジュールの中にも入っています。

説明会については、来年の 1 月・2 月ぐらいまでかけて、地域に説明を行いまして、その報告ということになります。終わった後のアンケート等も、町民の皆様へ取っていこうと思います。小中一貫教育についてご理解を深めていただくための追加の説明資料等を作る必要もでてくると思います。

また、保護者も含めた町民対象のアンケートの結果等々についてもお知らせすることになると思います。

それから、令和 9 年度からの取り組みになりますが、「学園名募集」についての説明もさせていただくことになると思

います。学校現場も含めた実際の取り組みに落とし込む中での、様々な課題も出てくるかと思われます。そういったことも含めて、皆さんにご報告やご相談をしながら進めていくことになると思います。以上です。

＜議長＞

はい、ご説明ありがとうございました。準備委員会につきましては、第３回を令和9年の２月・3 月ぐらいで実施するということをご承知おきください。他に何か、委員の皆様の方から質問やご意見等ありませんでしょうか。

では、２番目の議事に移ります。小中一貫教育の説明会について、①開催時期・場所・方法について、②パンフレット・説明内容について、③その他について説明をお願いします。

＜事務局＞

資料 4-①をご覧ください。先ほども教育長からもありましたように、学校教育だけではなくて、乳幼児教育、就学前教育とのつながりも大切ということで、令和 12 年度からの本格実施に向けて乳幼児期の子どもたちの保護者の意見を取り入れることが大事になると思います。説明会実施の案内文書をたたき台としてあげています。各学校、こども園、全体での説明会では、区長会、児童委員・民生委員協議会、老人会、婦人会等、また各学校等での説明会に参加できなかった方々にご参加いただくことを考えています。各会場には保護者だけではなく、町民の皆様にご参加いただく形になると思います。ご案内につきましては、区長会、回覧、ホームページ等でお知らせしていければと考えています。

内容については、「基本方針について」、「小中一貫教育とは」、「計画の全体像」、「年度ごとの主な取り組み」、「ロードマップ」、「取り組みの 4 つの柱」、「グランドデザインについて」、「皆様へのお願い」等の内容になると思います。

それから、次の資料 4-②をリーフレットとして活用しようと思っています。「東彼杵町小中一貫教育が始まります」ということで、「9年間でつなぐ子どもの笑顔と未来」ということで、どうして取り組むのかということ。1 つは、中 1 ギャップのない安心できる環境です。」「進学時の不安や環境変化によるつまずきを、 2 年間の継続的な見守りで防ぎますということで、中 1 ギャップとは、進学時の不安や環境変化によるつまずきのことを言います。」どんなことを目指すのかということで、「9 年間が一つの線になるカリキュアムを作っていきます。」ということです。「小中の学びの段差をなくす」とか、「一人一人の成長に合わせたきめ細かな支援を行う」ということ。それから、「町全体で未来の宝を育てる教育」として、「地域との関わりを大切にして、ふるさとを愛し、自ら考え行動できる子どもたちを育てていきます。」ということ。これをどうやってやるのかということで、「先生たちが一つのチーム」になっていただくということ。そして、「いっしょになるの？」ということ。これも、これまでの検討委員会の中でもたくさん意見が出ましたが、統合の問題と関わってくるのかという意見もたくさん出されました。町の財政だとか、いろいろなことを考えますと、今のところ、方向性がこうですということにはならないということで、校舎は当面そのままのいわゆる「施設分離型」でやっていきます。まずは、「授業や先生同士の連携など、教育の中身の充実をさせていきます。」ということです。「校舎の統合などについては、子どもの数や地域の声を聞きながら、時間をかけて話し合っていきます。」という形でリーフレットになっています。

それから、 3 ページからは、基本方針を少しまとめた形で、 2026 年から 2030 年までの 5 年間で段階的に進めていくということで、そこにもあります「小中一貫教育とは何なのか」、それから「5 年間のロードマップ」。5 ページは「年度ごとの主な取り組み」として、「2026 年何度―スタートの準備を整える年」、「2027 年度―かたちを描く年」、「2028 年度―計画を形にする年」、「2029年度―試上げに向けて試す年」、「2030 年度―本格スタートの年」という形になっています。

2030 年(令和 12 年)は、次期学習指導要領がスタートします。今論議をされていますが、当然、学校のカリキュラムもそれに合わせる形で整理をしていくことになります。そのことと歩みを重ねて取り組むべきことがあると思います。

「4 つの柱」ということで、これがグランドデザインの中身になりますが、先ほどからの「学力向上」、「心の教育」、「体力健康安全」、「ふるさと教育」ということです。

「誰が何を進めるのか」という点は、先ほども言いましたが、「学習指導要領」、「教育委員会の役割」、「学校の役割」、

「学校運営協議会の役割」ということで示しています。
「みなさまへのお願い」、「言葉の説明について」を示しています。
それから、先ほど教育長からも説明がありました「グランドデザイン」を載せています。特に区分の下の方は、先生方に今論議をしていただいていますので、そこを活用していきます。「めざす姿」は、地域も含めてご意見をいただきながら、「どういう子どもたち」、「どういう先生たち」、「どういう保護者」、「どういう地域」を目指していくのかというところを固めていければなと思っています。
また、学園教育目標につきましても、校長会とか推進委員会とかも含めた中で、皆さんのいろいろな意見をもとに活用していきたいというふうに思っています。
ロードマップを最後のページに載せていますけども、国の動きとしましては、今年は学習指導要領の告示があり、2029 年(令和 11 年)には教科書が採択され、小学校で 2030 年(令和 12 年)からスタートをするということです。
それから、先ほど教育長からありましたように、部分実施ということで、小・小、小・中の連携として一貫カリキュラム等を作っていくことが重要になっていきます。
まず、教育委員会、それから学校の研修、教育をどうしていくのか、連携について学校運営協議会の中ではどういう役割を果たすのかということを、住民の皆様に説明をすることになると思っているところです。以上です。

＜議長＞
はい、説明ありがとうございます。それでは、まず①の方から審議したいと思います。事務局から、地域説明会について資料4の1ページに案内文書がございます。具体的な開催時期は、この案内が出た後になりますので、 11 月から 12 月ぐらいになると思われます。場所や、具体的にどのような方向で対象者を集めるか、各学校やこども園で行う場合にも、地域の方も特に参加していきただきたいということもありました。趣旨も含めて、どのような形で開催するのがいいか、委員の皆さんの中には学校関係者もいらっしゃいますので、ご意見をお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

＜委員＞
説明会に使用される資料は、もうちょっと詳しくなるのでしょうか、これが使われるのでしょうか。これには、保護者・地域住民の皆様へとなっていますが、全部に関わるような説明文書になっていますが、どうでしょうか。それと、千綿地区の場合は、できれば近いところに説明会に行きたいというのがあると思うので、確認になりますが、千綿小学校の保護者だけでなく、地域の方も行けるようになるのでしょうか。

＜議長＞
はい、ありがとうございます。2 点ご質問がございました。一つは、案内文書について。もう一点は、近くの会場の方に行ける形の説明会をするのでしょうかというご質問です。事務局の方からよろしくお願いします

＜事務局＞
失礼します。資料につきましては、こういうことも入れて欲しいということがあれば、反映をさせてできるだけ皆さんに分かりやすい形にしていきたいと思います。この資料も、これまでの論議を踏まえて、AI の力も借りて分かりやすい図で示せるように作りましたが、変える必要があれば、対応したいと思います。
場所につきましても、学校で実施するときに地域の皆様にも、ご参加いただく形で開催します。保護者の皆さんもお忙しいということのもあると思うので、学校の行事と重ねて開催ということも考えていいと思います。PTA も学校もそれぞれに取り組むことがあると思いますので、重ねて開催した場合に時間が取れるかいうこともありますので、別で時間を取って開催するということであれば、時間を確保する形で実施してまいりたいと思います。

＜議長＞
教育長、よろしくお願いします。

＜教育長＞
新しい委員の方もいらっしゃいますので、補足をしたいと思います。今回、統合するわけではないし、学校がなくなるわけではないわけです。もし、学校がなくなって学校が一つになるとか、あるいは千綿小と彼杵小が統合するということになってくると、各地域の方々にきちんと説明する必要があると思っていますが、今回学校はそのままで、教育の内容とか教育の仕組みを変えるということですので、主に保護者の方々にきちんと説明をまずやります。ただ今後の見通しについては、地域の方もどうなっているのかということもあると思うので、地域の方も関心や興味がある方には一緒に参加をしてもらいたいと考えています。ですから、保護者に説明するのですが、是非地域の方も時間があれば来ていただく案内をしたいと思っています。
また、これから小学校に入ってこられるこども園の方にも赴いて、こども園でも説明をしたいと思っています。子ども園さんにご迷惑をかけるわけにはいかないので、子ども園の保護者だけを対象に開催したいと思っていまです。会場をお借りして、その中で子ども園の保護者の方向けに説明会をしたいと思っています。そして、最後にもう一度、地域の中で行いたいと考えています。
資料はまた、これは回覧とかお知らせのための配布用に提示してあるもので、説明会の資料についてはまた別途、新たな詳しいものを出そうと思っています。

＜議長＞
はい、よろしいでしょうか。

＜次長＞
ちょっと補足をさせていただきます。先ほどの、地域への呼びかけ方については、今教育長もおっしゃったように、地域の方も含めて、各 3 校での説明会の場を設けていきたいということですので、呼びかけ方法や手段につきましては、今想定できるのは、各地区への区長さんを通じての回覧の中で、「各学校で開催しますので近いところにおいでください。」といった方法しかないのかなと思います。区長会を通じて地区への回覧という流れと合わせて、その各学校運営協議会の今後の開催のタイミングによるかと思いますが、いろんな地域の方々もいらっしゃると思いますので、いろいろ役割を持たれた方が、そこを通じて口コミというかたちで、そういった投げかけをしていただいた中で、それぞれの地域の中で、保護者と地域で情報を共有しあうという場面になればと思っています。
方法としては、先ほど申しましたように、区長会を通じて、行政のこういった説明の開催はご案内する形になろうかと思います。以上でございます。

＜議長＞
はい、ありがとうございました。今の趣旨をまとめますと、地域の方々も、近隣の学校の説明会の方にも参加してもらいたいという趣旨もありましたので、小中学校におきましては、先ほど事務局からありましたように、何か行事と合わせてとか、授業参観の後とかではなくて、地域の方々や保護者以外の方も参加できるような形で実施してもらいたいということであったと思います。また、こども園さんに関しましては、保護者を対象にということで進めてもらいたいとおっしゃったと思いますが、校長先生、PTA 会長様、何かご意見等ありませんか。ご質問等、よろしいですか。
各学校で、そういうふうになれば時間帯も、ある程度検討しなきゃいけないという形になると思います。地域の方々や保護者を集めるとなれば、おそらく夜とか、そういった時間にもなるのかなということも考えられますが、その後は各学校と事務局との相談という形でよろしいでしょうか。それでは、校長先生、PTA 会長様方、また学校の方で検討してい

ただきまして、事務局の方と今後、協議を進めてもらえればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
はい、それでは、続きまして、(3) 保護者対象アンケートについて、説明をお願いします。資料 5 をご覧ください。お願いします。

＜事務局＞
失礼します。「グランドデザインに係るアンケートについて」という表裏の 1 枚ものになります。グランドデザインの中の「目指す姿」としての「児童生徒像」、「教師像」、「家庭像」、「地域像」の記述の内容の検討に向けたアンケート項目を設定するということが大きな目的になります。

1 作成の趣旨:・基本方針において、学校・家庭・地域の共通目標として、「児童生徒像」、「教師像」、「家庭像」、「地域像」を設定する ・設定に当たってアンケートを実施し、学校運営協議会における熟議等を通して、願いや思いを反映させる ・保護者については、学校評価に小中一貫教育に関する項目や関連する項目を設けて、小中一貫教育の視点を加味した内容のアンケートを実施 ・小中一貫教育に関する記述のために、どのような視点で保護者の意見を把握するかを整理する

2 アンケート実施目的(案):①小中一貫教育についての理解度の把握 ②保護者・町民が考える、「育ってほしい子どもの姿」、「教職員の姿」、「保護者の姿」、「地域の姿」の把握 ③保護者の期待や不安、配慮してほしいこと等の把握 ④家庭・地域と学校の連携や協働のあり方の把握 ⑤グランドデザインの記述に、汲み取った意見を反映させる

基本的に、子供たちも、先生方も、保護者の皆さんも、地域の方々も、それぞれが主体者になって、町民みんなで子どもたちを育てていくのだということを、意識化と同時に行動に反映できるように、アンケートにもそういった内容を反映させていければと思います。

3 アンケートで確認した主な観点(案)

(1) 早期一貫教育への理解や認知:・どの程度しているか ・趣旨を理解しているか ・説明会や資料で特に知りたい内容はどんなことか

(2) 保護者が期待する子どもの姿:・9年間を通して子どもに育ってほしい力は何か ・学力、生活、人間関係、地域との関わりの中で重視することは何か ・「地域・保護者」として大切にしたい支援や関わりや何か (※目指す児童成長の設定に、家庭や地域の願いや思いを反映させることが重要)

(3) 保護者の期待:・小中連携で特に進めてほしい取り組みは何か ・異学年交流、地域活動、教職員連携などへの期待 ・小中一貫により改善してほしい課題

(4) 保護者の不安・懸念:・中学校進学時に特に不安なこと ・学習内容、友人関係、部活動、生活指導などで心配なこと ・小中一貫教育の導入にあたり配慮してほしいこと

(5) 家庭としての可能な関わり:・家庭で協力できることは何か ・学校や地域と連携して取り組みたいことは何か ・保護者同士や地域とのつながりの中で期待する支援は何か(※基本方針の中では、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、自己評価や相互評価を行いながら高め合う関係性が必要とされています)

(6) 情報提供、説明の方法:・説明会、紙資料、ホームページ等のうち、分かりやすい方法は何か ・アンケート結果の還元方法として望ましいものは何か ・今後の意見交換の場として望ましい形式は何か

4 アンケート項目の叩き台

(1) 基本項目:・在籍校 ・学年 ・回答者区分(父・母・祖父母・その他)

(2) 理解・認知:・小中一貫教育について、どの程度知っているか ・特に知りたい内容は何か

(3) 期待:・期待するものは何か ・9 年間を通して子どもに身につけてほしい力は何か ・地域と関わる学びとして重要だと思うもの

(4) 不安:・不安や心配に思うこと ・進学や学校生活で心配なこと

(5) 家庭、地域の関わり:・家庭としての協力ができることは何か ・地域と学校の連携で期待することは何か ・保

護者として学校園教育会や地域活動にどのような関わりが望ましいと思うか

（6）自由記述:・「地域・保護者」の役割や関わり方についてのご意見 ・東彼杵町の小中一貫教育に関するご意見・ご要望

委員の皆様の意見を集約してアンケートに反映をさせたいと思います。以上です。

＜議長＞

グランドデザインにかかるアンケートについて、事務局から説明がありました。対象は、児童生徒・保護者、教職員、地域住民という形になっています。児童生徒・教職員・保護者につきましては、学校を通じて実施すると思うのですが、皆さんにご意見をお聞きしたいのは、地域住民へもアンケートを取りたいということですが、どういう形で地域住民に聞いたらいいか、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

＜委員＞

これ区長会にお願いするのか、数が数ですので、各地区の代表というわけでもないですしね。難しいですね。

＜議長＞

事務局の意見ありますか。

＜事務局＞

はい。私も以前県庁で、県民の意識調査をする仕事をしたことがあって、そのときには 21 市町を全部回って、年代とかを考慮して名簿を作って、送って回答していただくというようなやり方をしたことがあります。今回、それと同じになるのかわかりませんが、よくある電話での調査とかも、ランダムに拾い出してお願いをするようですが、そういう方法も、分母となる実施数をどれぐらいするかとかいうことやアンケートの有効数とかいうこともあると思いますので、そういったものも調べた上で、地域住民の皆様にはそういう形でお願いする方法もあるかなと思ったりします。また、区長会の方にお願いすると、大変煩わしい作業になるし回収等も大変になると思いますので、同時にネットでのアンケート実施もできるのではないかなと思っているところです。

＜議長＞

はい、ありがとうございます。1 つの意見として、アットランダムに抽出して、封書で送って実施する方法がでましたが、何か他に意見はありませんか。はい、次長さんお願いします。

＜次長＞

はい。まず地域住民の範囲の捉え方なのですが、案として、従来、教育委員や行政がやっているのは、いわゆる町民の意識調査的な調査であれば、そういった無作為に抽出をしてやっていくっていう方法も、逆に言えばそれがいろんなご意見を拾えるというところもあるのですが、一方で、やはりこのグランドデザインを作成していくという視点、着眼点で考えていくと、ある程度学校教育に関わった方々という選定方法というのもありかなというところでいきますと、いわゆる地域協働活動本部で、いわゆる学校を支援する関わりの方々、民生委員の皆様方、婦人会の皆様方、老人会の皆様方、それぞれ地域的な組織、地域の社会教育的なことも含めた団体というのもございますので、そういった方に一括してお願いする方法がいいのか、ある程度名簿を作って無作為にお願いするかのやり方もると思いますが、本当に私たちが必要とする意見の聴取について、何か皆様のいいアイディア、今委員会としてはそういうある社会的な関わりの団体・組織に投げかけるのも一つの方法かなという思いがございます。それ以外にいろいろな関わりの中で、こういった方法ややり方をしたらどうでしょうかというようなご意見も含めて、お聞かせいただければと思いますので、よろしくお願い

いたします。

＜議長＞
　ありがとうございました。グランドデザインを作成する、つまり学園教育目標や目指す姿を作るためのアンケートとして考えれば、学校関係者、地域共同活動本部とかそういった方々の方がいいのではないかという意見もいただきましたが、他にありませんか。お願いします。

＜委員＞
　このアンケートの範囲ということなのですが、アンケートの中身によるかなと考えました。例えば、町全体でどれぐらい、賛成に何パーセントとかいう形で出すのであれば、全体に出す必要があると思います。あと具体的なご意見を伺いたいということであれば、パブリックコメントみたいな形で情報公開した上で、意見を持っている方から詳しく意見をいただくというやり方もあるのかなと思います。
　ですので、このアンケートで何を聞きたいかっていうことと、あとはアンケートでいろんな意見が集まったときにどうするのかなというのを考えていて、例えば学力を上げてほしいっていう意見と、子どもたちはもっと自由にやらせてほしいといういろんな意見があったときに、じゃあアンケートのどっちを採用しますか、どっちが正しいですかっていうことの判断が難しくなるのかなというように思いました。
　グランドデザインに意見を反映させるために意見を集めるというのは正しいと思いますが、いただいた意見をどう扱うのか、準備委員会の参考資料として使うのか、8 月 19 日の先生方の集まりに具体的に入れ込んで先生たちで判断するのか、アンケートの解釈・判断をどこでどういうするかが見えなかったので、質問をさせていただきます。

＜議長＞
　はい、ご質問ありがとうございます。ただいま意見に関して事務局の方から何かございますか。

＜事務局＞
　前回やった時もそうでしたが、いわゆる悉皆調査になるのかなと思っています。様々な意見、多様な意見がございますので、そういった意見があることをまず私たちが理解することになると思います。その上で、意見を踏まえて、意見を加味して、 A という意見もあります同時に B という意見もあり、当然それをなかったことにはできないわけですので、そのことを踏まえた検討を重ねて、目指すこども像、教師像、家庭像、地域像というものを検討していく扱いになると考えています。資料としてはそういう形になると思います。

＜議長＞
　はい、教育長よろしくお願いします。

＜教育長＞
　ありがとうございます。確かにその通りだと思います。ただ学園教育目標、目指す児童生徒像、教師像、保護者像というのは、大きなものしか作れないと思っています。
　例えば、「自立できる子供」とかは大きな目標で、「学力をこうして伸ばしてほしい」というのは、その下のつけたい力であって、重点的な取り組みのところに出てくるものだと思っています。上の部分はやはり大きな目標的なものになるので、保護者としての理想的なものになると思うのですね、目標の部分も。こういうふうになったらいいな、こういう東彼杵町の子どもになってくれたらいいなっていうような、大きな目標を踏まえたものになるのではないかなと。その中で、地域の方々はどういう子どもたちを望んでいるのかなっていうのを聞いてみたい。その中で、新しい学校づくりを

やっていきたいというのが大きなところです。アンケートの目的の一つは、どういう子供になってほしいかということを地域の方、保護者の方にも持ってもらいたいと思います。

例えば、目指す教師像に関しても、保護者の方はどういう先生を望んでいるのか、地域の人はどういう人を望んでいるのかっていうのは違いが出てくるのではないかなって思っています。逆に、保護者がこういうようなあり方にならなきゃいけないというのは地域の方の思いもあるし、保護者の方も、地域はどういうことをやってほしいかということについて、保護者から意見を出すということは、それなりに実態を知る上でも、思いを知る上でも、それはそれで目的が達成できるんじゃないかなと個人的には思っているところです。

＜議長＞

はい、ありがとうございました。よろしいでしょうか。時間はだいぶずれてきましたが、あと対象者、最初の話題に戻りますが、今、次長そして事務局から、アットランダムもしくは学校関係者という話が出ていますが、この点についていかがですか。はい、よろしくお願いします。

＜委員＞

初めて参加させていただいて、いろいろ読ませていただいたのですが、このアンケートに関して、自分なんかの気持ちから言うと、自分が受けてきた教育の方式が何かこう覆されるような、すごく画期的なことになるわけですよね。小学校 6 年間過ごして、中学生になったら学生服着て、また新しい友達ができるみたいな、そんなイメージをずっと持っていたところに、今度はそれを 9 年間通してやるということになると、一般の住民からだと、「なんでこんなことやらなきゃいけないのだろうね」というような率直な疑問が、率直というか素朴な疑問が出るのではないかということが一つあると思うのですね。

そういう意味から言うと、このアンケートを通じて、方針みたいなものを広く住民の皆さんに理解してもらうってことが大事なんじゃないかなと。仮に反応がないにしろ、そういうものを目にするかしないかっていうのはやっぱり大きいと思うのですよね。そうでないと、一部の人たちが考えてやっているみたいなふうに、受け止めがちなところも人間ありますので、そういう意味では広く、私ははっきり振るっていうのは必要なことじゃないかなと思います。

それから、こういう事業にはやはり、東彼杵町としてどんな子供さんに育ってほしいかとか、どんなことを目指すのかというような、理念みたいなものが必要になると思うのですね。格調の高い、誰が聞いてもそうだと思うような理念を掲げていることが必要になるのではないかなと思います。

こういうアンケートを通じて、住民の皆さんからもいろんな意見を取り入れながら、それを研ぎ澄ました形で、その東彼杵町の教育理念みたいなものを住民参加で、みんなで作ったというような形に持っていけると、それはまたそれで、すごく地域としての盛り上がりみたいなものにもつながってくるのではないかなって。そうなると、この住民が東彼杵町の教育に参加するっていうことの意味も、深いものになっていくのではないかなというふうな、そんなことを感じながら、今お話を伺ってきました。以上です。

＜議長＞

はい、大変貴重な意見ありがとうございました。本当に広く、たくさんの町民から意見を聞いた方が、より今回のこの小中一貫教育の趣旨が、町民全体に地域全体に伝わっていくんじゃないかなということでしたが、いかがでしょうか。

＜事務局＞

今いただきました貴重なご意見を、是非反映させる方向で、対象・方法も含めて検討していきたいと思います。

＜議長＞

では、この件に関しましては事務局に一任でよろしいでしょうか。またご検討の方もよろしくお願いします。

それでは、（4）学園名募集につきまして資料 6 の方を準備ください。それではよろしくお願いします。

＜事務局＞

タイムテーブルで考えますと、次年度の作業になっています。募集を令和 9 年度に、審査・決定・公表を令和 10 年度にかけてというように思っています。

またこれも、応募対象、あるいは資格みたいなところで、どなたでもどうぞと世界中の人を含めてどうぞとやるのか、東彼杵町在住の方、あるいは東彼杵町の学校に通勤・通学されている方、あるいは東彼杵町内の学校にかつて通学をされていた方も含めてというようなこともあるかなと思っています。

具体的な内容については、第 3 回で論議したいと思いますが、参考資料という形で出させていただいています。令和 7 年の 8 月 4 日からというのが、諫早市の小長井が、ここは義務教育学校としてスタートをするという形で、学校名の募集をされて、これももう確定をしているのだと思います。

それから、その横の滝野っていうのは、兵庫県ですが、ここの募集要項です。裏には応募料紙等もついています。それから天明校区というのは熊本市で、これももう確定しています。先ほども、校長先生とお話をして、「未来」がつくパターンもあるよねと話していました。

特に小長井は、応募基準として、児童生徒、保護者、地域住民を親しみやすいとか、末永く地域に愛されるとか、歴史的または地理的なイメージが湧くとか、読みやすい、言いやすい、書きやすい、滅ぼされにくいとか、他市町村と同じ名の校名がないとかも含めて募集をしていくことで、先ほどもご意見いただいた、「おらが学校」だったり、私たちの学校、住民参加というようことがぜひ実現するような方法で、学園名も募集していけたらと思います。

当然、分離型ですので、それぞれの学校名は残ることになりますが、他のところでもよくある、「〇〇学園△△小学校・◇◇中学校」というようなイメージになっていくかなと思っています。

また、今日は時間がございませんので、皆さんに資料等、ご意見集約のものをお出ししまして、皆さんからのご意見をお伺いできればと思っているところです。以上です。

＜議長＞

はい、ありがとうございました。具体的な内容につきましては、次回の第 3 回実施委員会で提案されるそうです。今日は参考資料が配られますので、それを参考に、是非委員の皆さんからもご意見をいただければと思っていますのでよろしくお願いします。

（5）その他です。何かお聞きしたいとか、お話ししたいことがありましたら、出していただければと思います。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、マイクをお返ししたいと思います。進行がまずくて、時間ぎりぎりになりまして、本当に申し訳ありませんでした。どうもありがとうございました。

＜次長＞

はい、正尾校長先生、議事・進行ありがとうございました。お疲れ様でございました。それでは、7 次回の準備委員会について、お伝えすることがありましたらお願いします。

＜事務局＞

検討委員会の時から、できるだけ多くのご参加が叶うところでの開催を考えていますので、次回も皆さんのご都合を集約するためのアンケートを実施して調整をしたいと思います。2 月か 3 月になると思います。以上です。

＜次長＞

次回の開催については、日程調整等をさせていただいて決めていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。事務局からは、以上が本日予定しておりました内容です。皆さんの方からはよろしいでしょうか。

よろしければ、この後、校長先生方と学校運営協議会の会長様、引き続き別の会議を予定しています。代表者会の会場は一階になります。ご移動をお願いします。15 時 40 分から予定をしていますので、若干お時間はあります。

それでは、以上をもちまして、この第 2 回の準備委員会を終わらせていただきます。

またアンケート等については、案を作って送らせていただきます。ご意見をいただき、前回検討委員会をしてきた時と同じようにアンケートの調整、そういったやり方で案を送らせていただいて、確認をしていくという形の流れを取っていきたいと思いますので、引き続きご協力をお願いします。

それでは以上で本日の会を終わります。どうもありがとうございました。